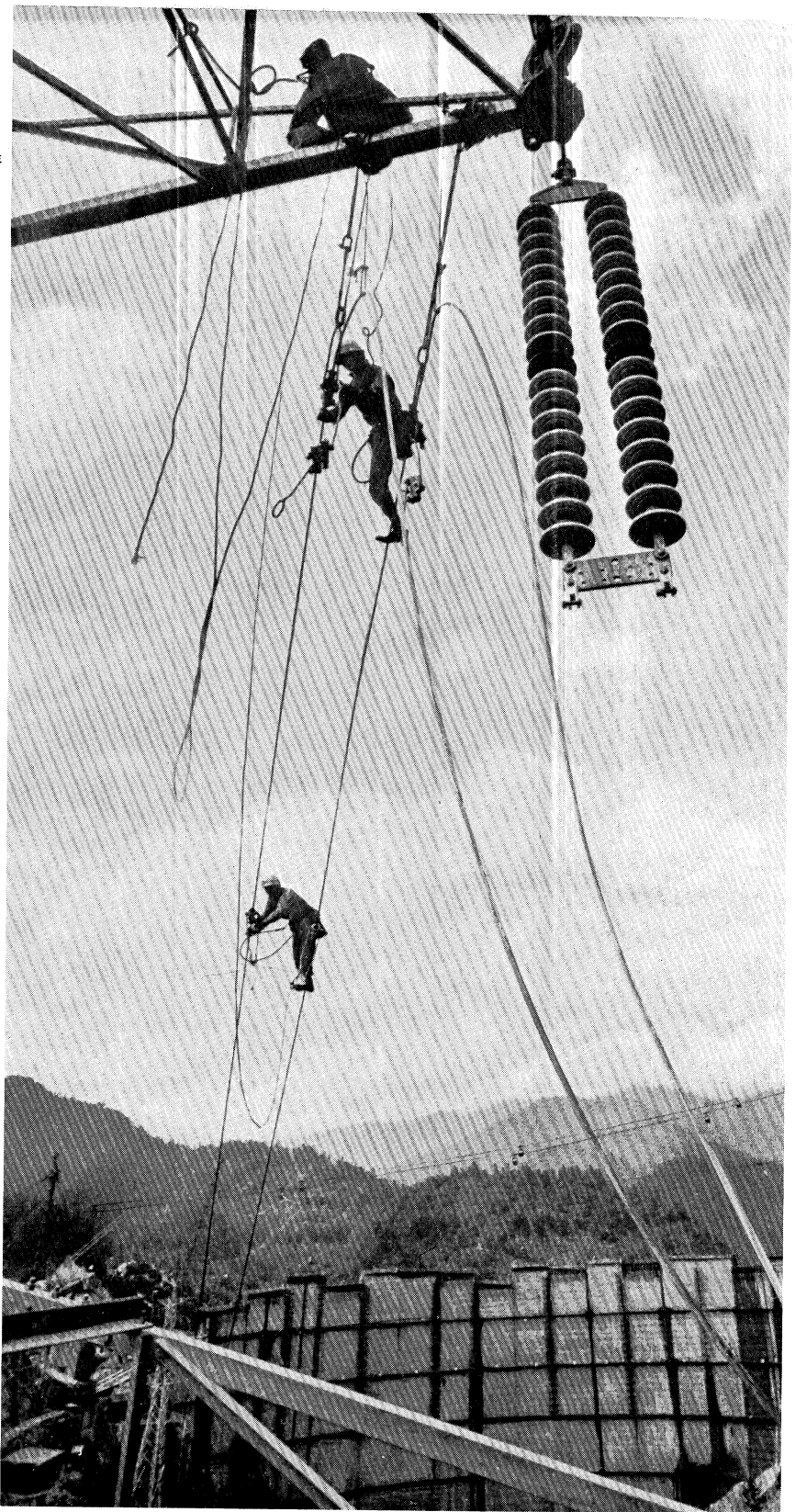


堤高131m、長さ402m、堤体積65万 m^3 のコンクリートアーチダムと、世界第2位を誇る場水式発電所からうみだされる240,000kWの電力を関東一円に送る高圧送電線の建設工事が、最後の追込みに入ったダム建設工事等とともにすすめられている。高さ約50mの鉄塔の上での作業は危険な作業であるが、塔上からみるダムの美しさは、また格別である（本誌第49巻第9号ニュース欄参照）。



写真・朝日新聞社提供

完成せまる矢木沢ダム・発電所建設工事

狩野川放水路完成



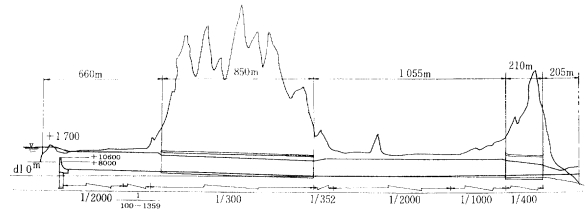
写真・
建設省河川局
治水課 提供

昭和26年から開始された建設工事は、総工費66億円をもって、本年7月ついに完成した。

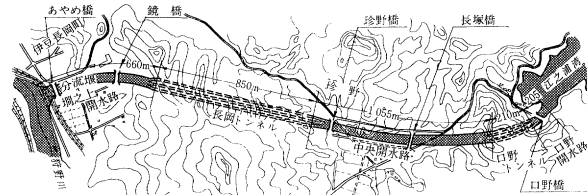
温和な気候風土の中にあつて、水害は常に悩まされ続けてきた災害だけに、本放水路の完成は、豊かな明日を約束するものと期待されている。

工事は26年に着手、種々の曲折を経て32年から本格的に工事が進められた。また、33年の狩野川台風で大災害を受けたことは、まだ記憶にあたらしい。本放水路完成直後、本土を襲った台風17号に際しても、その威力は十

放水路縦断面図



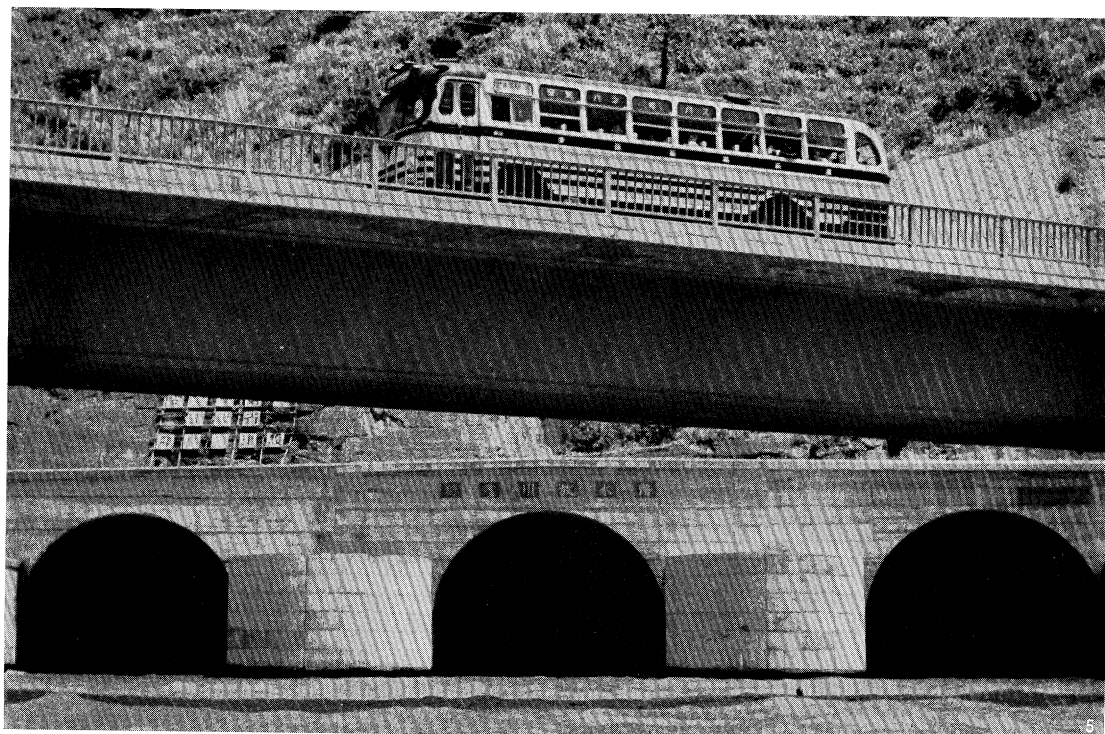
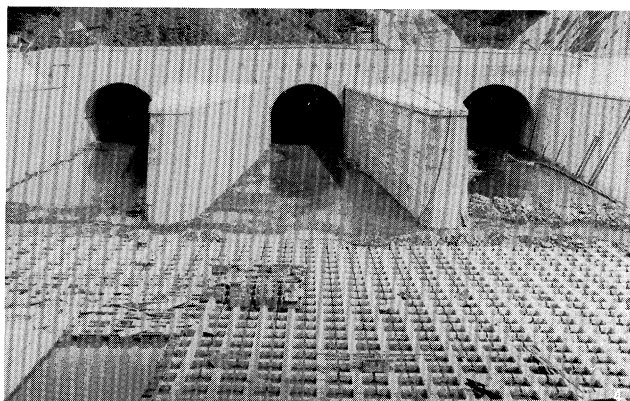
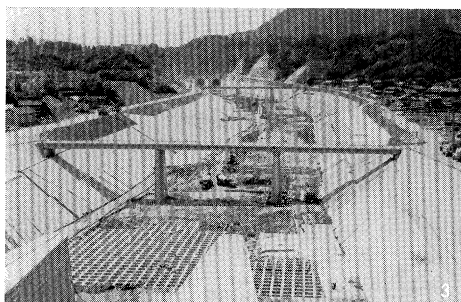
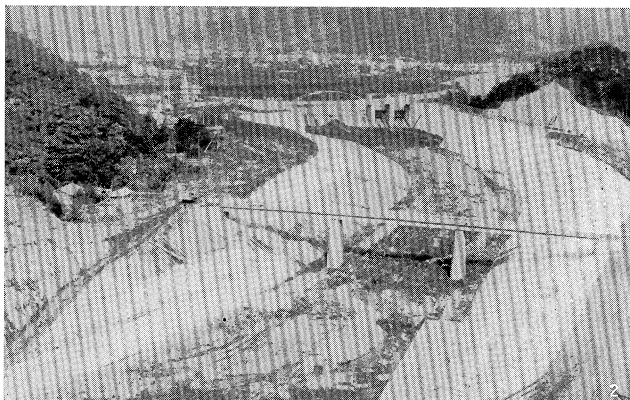
放水路平面図



分に証明された（本文ニュース参照）。

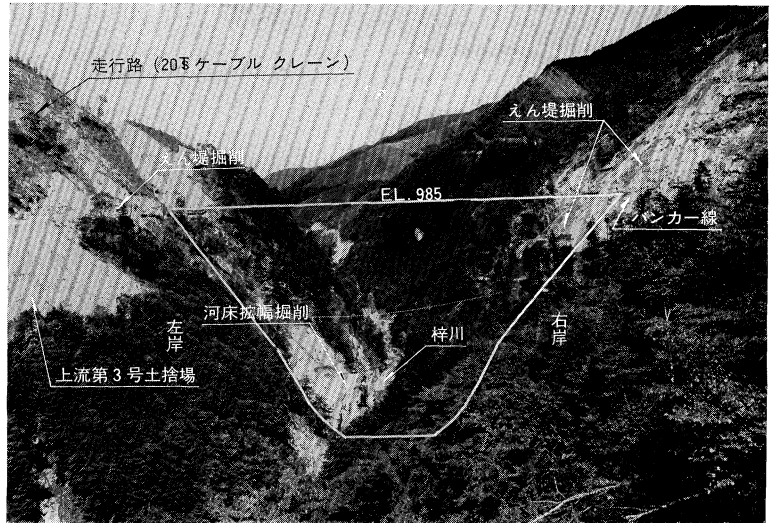
写真説明

1. 完成された狩野川放水路。手前が狩野川で、上は 江之浦湾である。
2. 壱の上放水路
3. 中央開水路。手前から珍野橋、長塚橋である
4. 長岡トンネル出口
5. 口野トンネル出口



奈川渡ダム 安曇発電所 建設工事 始まる

信濃川上流梓川の電源開発工事中最上流の奈川渡ダムと安曇発電所の建設工事が、いよいよ始まった。コンクリートアーチダム「奈川渡」は、高さ155m、堤頂長367m、堤体積66万m³の巨大なダムで、総工事費は安曇、水殿、新竜島合せて494億円と試算されている（本文ニュース欄参照）。



写真説明

上・えん堤上流より展望したダム サイト全景である。アバットおよび堤頂の位置を白線で示した

中・右岸

下・左岸

両岸とも、目下堤頂上部ののり切り掘削と諸仮設備の諸基礎工事を施工中である。ダムアバットの岩盤は、左右両岸とも下部はかこう岩、上部は破碎されたホルンフェルスで、かなり破碎され、また風化が進んでいる状況である

